

特別栽培農産物栽培管理計画書(変更)

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	25年1月30日

生産者	杉山修一	品種名	コシヒカリ・夢ごこち・あさひの夢 新生夢ごこち・夢の華・N58・ゆうだい 21・なすひかり・N59・PR35
住所	栃木県塩谷郡塩谷町肘内742	ほ場	様式6-1-水稲早期参照
電話	0287-46-0741	栽培面積	205078 m ²
作目・作型	水稲 早期栽培	収穫期間	9月10日～11月15日

(計画)

○作業内容 コシヒカリ・夢ごこち、ゆうだい21単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・ 窒素施用量	備考
有機質散布	25.3.上旬	発酵鶏糞	150 kg		
耕起作業	25.3..上旬				
種子消毒	25.03.上旬	温水			温湯消毒
播種	25.04.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 2 kg 0.6 kg		10リットル=20枚換算
代掻き作業	25.04.下旬 から5月中 旬				
田植え作業	25.04.下旬 から5月 20	ルーチン粒剤 被覆尿素 マグマリーン	1 kg 7.5 kg 20 kg	1回 3 kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え後7 ～10日	カゼータンホ	0.4 kg	2回	
土壌改良材流し込み	25.05.25	海洋深層水1ヘルツ			
除草剤散布		バサグラン液剤	0.5リットル	1回	
収穫、乾燥	25.09.中 旬から10月 上旬				
調整作業	出荷に合わ せ順次調整				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
4	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.00	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
マグセーダジヤホ	ピラクロニル	5.00%
	プロピリスルフロ	2.25%
バサグラン液剤	ペンタゾン	40.00%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

(計 画)

○作業内容 あさひの夢、新生夢ごこち、なすひかり・夢の華・N57・N58・PR35
 (単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	25.2.上旬	発酵鶏糞	1200 kg		
耕起作業	25.3.上旬				
種子消毒	25.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	24.4.上旬	有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5% 4 kg 1.2 kg		10畝-20枚換算
代掻き作業	25.4 下旬から 5月中旬				
田植え作業	25.4.下旬から 5月下旬	ルーチン粒剤 マグマリン 被覆尿素	1 kg 20 kg 9 kg	1回 3.6 kg	田植え同時散布 田植え同時散布
除草剤散布	田植え後 7 ~ 10日	ヤイバジジャンボ	0.25 キロ	2回	
土壌改良材流し込み	25.05.25	海洋深層水 1 ヘルツ			
除草剤散布	25.7.10	バサグラン液剤	0.5 リットル	1回	
収穫、乾燥	25.09.中 旬 から 10月 上旬				
調整作業	出荷に合わせ 順次調整				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
4	16	5割減

窒素施用量 (kg / 10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.60	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	名
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
マゼンタジジャンボ	ピラクロニル	5.00%
	プロピリスルフロ	2.25%
バサグラン液剤	ベンダゾン	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

(実績)

その2

圃場

○作業内容

コシヒカリ、夢ごこち

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	25.3.上旬	発酵鶏糞	150 kg		
耕起作業	25.3..上旬				
種子消毒	25.03.上旬	温水			温湯消毒
肥料散布	25.03 中旬	塩化加里 マグマリン スリヤグアノ	20 kg 20 kg 20 kg		
播種	25.04.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	8 2 . 5 リットル 2 kg 0 . 6 kg		10リットル20枚換算
代掻き作業	25.04.下旬 から5月中 旬				
田植え作業	25.04.下旬 から5月 20	ルーチン粒剤 被覆尿素 シワチ1キロ粒剤	1 kg 7 . 5 kg 1 kg	1回 3 kg 2回	田植え同時散布
除草剤散布	田植え後7 ～10日	カゼータジヤホ	0.4 kg	2回	
土壌改良材流し込み	25.05.25	海洋深層水1ヘルツ			
除草剤散布	25.6/20～ 25/7/2	バサグラン液剤	0.5 リットル	1回	
収穫、乾燥	25.9/15～ 25.9.30				
調整作業	出荷に合わせ 順次調整				
出荷作業					

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
6	16	割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3	8	割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
カゼータジヤホ	ピラクロル	5.00%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

	プロピリスルフロ	2.25 %
バサグラン液剤	ペンタゾ	40.00%
シウチ 1 kg粒剤	ブタクロール	5.00 %
	ペンキゾ	1.5 %

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄（署名・印）	これまでの農薬成分回数及び 化学肥料施用量（kg/10a）		備 考
	農薬成分回数	窒 素	
25年9月1日 有坂誠 和氣勝英  印	6 回	3 kg	
年 月 日 印	回		
年 月 日 印	回		

○特記事項

--

(実績)

○作業内容 新生夢ごこち、なすひかり・夢の華・N57・N58

(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	25.3.上旬 ～25.4.10	発酵鶏糞	圃場条件に合わせて 700 kg～ 1500 kg		
耕起作業	25.3.上旬 ～4.10				
種子消毒	25.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	24.4.上旬	有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5% 4 kg 1.2 kg		10～20枚換算
肥料散布	25.03 中旬	塩化加里 マグマリーン スリヤグアノ	20 kg 20 kg 20 kg		
代掻き作業	25.4 下旬から 5月中旬				
田植え作業	25.4.下旬から 5月下旬	ルーチン粒剤 シッパ1キロ粒剤 被覆尿素	1 kg 20 kg 9.9 kg	1回 2回 3.96 kg	田植え同時散布
除草剤散布	田植え後 7 ～10日	ヤイバジジャンボ	0.25 キロ	2回	
土壌改良材流し込み	25.05.25	海洋深層水1ヘルツ	0.1 リットル		
除草剤散布	25.7.10	バサグラン液剤	0.5 リットル	1回	
収穫、乾燥	25.09.上旬 から10月 下旬				
調整作業	出荷に合わせ 順次調整				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
6	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.96	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	名
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
マセーダジヤホ	ピラクロニル	5.00%
	プロピリスルフロ	2.25%
バサグラン液剤	ベンダゾ	40.00%
シウチ 1 kg粒剤	ブタクロール	5.00%
	ペンキザン	1.5%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
25年9月1日 有坂誠 和氣勝英 	6回	3.96 kg	
年 月 日 印	回		
年 月 日 印	回		

○特記事項

--

(実績)

○作業内容 あさひの夢 52番風見柳の上1612-1を除外した19770㎡
(単位：農薬 kg/10a 又はリットル/10a、肥料 kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
有機質散布	25.3.上旬 ～25.4.10	発酵鶏糞	圃場条件に合わせて 700 kg～ 1500 kg		
耕起作業	25.3.上旬 ～4.10				
種子消毒	25.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	24.4.上旬	有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象 農薬及び有機農産物の 別表の2の農薬不使用 培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5% 4 kg 1.2 kg		10～20枚換算
肥料散布	25.03 中旬	塩化加里 マグマリン スリヤグアノ	20 kg 20 kg 20 kg		
代掻き作業	25.4 下旬から 5月中旬				
田植え作業	25.4.下旬から 5月下旬	ルーチン粒剤 シツ1キロ粒剤 被覆尿素	1 kg 20 kg 9.9 kg	1回 2回 3.96 kg	田植え同時散布 田植え同時散布
除草剤散布	田植え後 7 ～10日	ヤイバジジャンボ	0.25 キロ	2回	
土壌改良材流し込み	25.05.25	海洋深層水1ヘルツ	0.1 リットル		
除草剤散布	25.7.10～ 25.7.15	バサグラン液剤 クリンチャーEW	0.5 リットル 0.1 リットル	1回 1回	
収穫、乾燥	25.10.上旬 から10月 下旬				
調整作業	出荷に合わせ 順次調整				

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
3.96	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	名
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
マゼータジヤホ	ピラクロニル	5.00%
	プロピリスルフロ	2.25%
バサグラン液剤	ベンダゾ	40.00%
シウチ 1 kg粒剤	ブタクロール	5.00%
	ペンキサゾ	1.5%
クリンチャーEW	シロホップチル	30%]

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
被覆尿素	40

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
25年9月1日 有坂誠 和氣勝英 	7回	3.96kg	
年 月 日	回		
年 月 日 印	回		

○特記事項

52 番風見柳の上1612-1について、有機質堆肥の不足から特別栽培に出来なかったため。